

令和 3 年度
生涯学習事業計画書

春日井市・春日井市教育委員会

目 次

I	令和3年度生涯学習事業予算.....	1
II	文化・生涯学習課.....	2
III	道風記念館.....	5
IV	公民館・ふれあいセンター.....	7
V	青年の家.....	8
VI	スポーツ課.....	9
VII	図書館.....	14
VIII	文化財課.....	17
IX	野外教育センター.....	20

I 令和3年度生涯学習事業予算

1 令和3年度一般会計予算

(単位：千円、%)

項目	令和3年度 予算額	令和2年度 予算額	対前年度		総額に 占める 割合
			増減額	増減比	
一般会計総額	109,400,000	106,120,000	3,280,000	3.1	100.0
教育費	11,369,672	12,233,845	△ 864,173	△ 7.1	10.4
社会教育費	3,628,263	5,056,533	△ 1,428,270	△ 28.2	3.3

2 令和3年度生涯学習事業予算

※社会教育費から給料及び職員手当等を除き、総務費のふれあいセンター事業を含めた額

(単位：千円、%)

項目	令和3年度 予算額	令和2年度 予算額	対前年度		合計に 占める 割合
			増減額	増減比	
社会教育事業	26,593	25,738	855	3.3	0.8
公民館事業	121,172	108,783	12,389	11.4	3.6
ふれあいセンター 事業	302,136	212,524	89,612	42.2	8.9
青年の家事業	16,196	15,931	265	1.7	0.5
社会体育事業	2,566,297	3,998,280	△ 1,431,983	△ 35.8	75.8
文化財事業	55,498	62,995	△ 7,497	△ 11.9	1.6
図書館事業	72,973	70,857	2,116	3.0	2.2
野外教育センター 事業	223,046	222,585	461	0.2	6.6
合計	3,383,911	4,717,693	△ 1,333,782	△ 28.3	

※上記各事業の予算額は、次の各事業に対応する各所属が所管する事業実施等に関する額。「社会教育事業」：文化・生涯学習課、「公民館事業」：各公民館、「ふれあいセンター事業」：各ふれあいセンター及び東部市民センター、「青年の家事業」：青年の家、「社会体育事業」：スポーツ課、「文化財事業」：文化財課及び道風記念館、「図書館事業」：図書館、「野外教育センター事業」：少年自然の家、都市緑化植物園及び細野キャンプ場。

Ⅱ 文化・生涯学習課

【推進目標】

- 第2次春日井市生涯学習推進計画に基づき、生涯学習施策を総合的かつ計画的に推進する。また、計画5年目となる令和4年度に中間見直しを行う基礎資料とするため、令和3年度に市民アンケート調査を実施する。
- 幅広い層の生涯学習ニーズに応じられるよう学習環境を整備し、より充実した学習内容、機会を提供できるよう、休日・夜間の講座や託児付き講座を実施するとともに、対面講座に加えて動画配信による講座を開催する。
- 講師発掘・登用事業で採用された講師や生涯学習情報サイトに登録がある知識・技能・経験を持った人材が幅広く活躍できるよう、各施設との調整を図る。

1 社会教育委員

〔予算額 409千円（対前年度比50.9%増）〕

社会教育、生涯学習全般について、指導・助言を行う。

《委員構成》

学校教育関係者	2名	
社会教育関係者	7名	
学識経験者等	6名	計15名

2 生涯学習指導員

〔予算額 9,120千円 ※人件費（対前年度比7.5%増）〕

生涯学習活動への指導・助言や協力を行うとともに、市民からの生涯学習に係る相談を受ける。文化・生涯学習課内2名、松原学習センター内3名の計5名。

3 かすがい熟年大学

〔予算額 1,932千円（対前年度比3.9%増）〕

高齢者が充実した余暇時間を過ごし、学習を通じた仲間づくりや健康で生きがいのある生活を送ることができるようになるため、60歳以上の市民を対象とした講座を開催する。

《実施概要》

対象	市内在住・在勤・在学の60歳以上の人			
定員	生活コース	150人	歴史コース	150人
	芸術文化コース	90人	文学コース	90人
	健康科学コース	90人		

講座回数：各コース年間15回（開講式・合同講座、閉講式・合同講座を含む）

4 成人式

〔予算額 7,079千円（対前年度比48.2%増）〕

将来を担う新成人を祝い励ますため、令和3年1月の開催を延期していた令和3年成人式を5月に、令和4年成人式を1月に開催する。

《開催概要》

令和3年成人式

開催日：5月3日（月・祝）

会場：市民会館

対象：平成12年4月2日～平成13年4月1日の出生者

令和4年成人式

開催日：1月10日（月・祝）

会場：総合体育館

対象：平成13年4月2日～平成14年4月1日の出生者

5 ふれあい教育セミナー

〔予算額 6,355千円（対前年度比増減なし）〕

学校等に通う子どもの保護者等が家庭教育の意義と役割を学び、社会性や思いやりの心など豊かな人間性を育む「ふれあい教育セミナー」を補助することにより、家庭教育力及び地域教育力の向上を図る。

6 生涯学習情報発信事業

〔予算額 3,918千円（対前年度比286.4%増）〕

(1) 生涯学習情報サイト

意欲・技能のある方を講師として登録し情報提供するほか、各施設で活動する団体の情報や講座情報を、インターネットを通じて提供する。

(2) 講座情報発信

市内施設で相互に協力し、実施講座のPRを行う。また、民間の地域情報誌に市民講座の情報を年2回掲載する。

7 講師発掘・登用事業

〔予算額 144千円（対前年比9.1%増）〕

市民が学習で得た知識や技術を広く生かし、「学ぶ」だけでなく、「教える」楽しみや生きがいを感じることが出来る場として、さまざまな知識や技術を持った市民を募集し、応募者自らが企画した講座を開催する。

応募講座の内容によっては、若い世代も参加しやすいよう託児付き講座

として実施する。

また、動画講座を募集し、いつでも気軽に生涯学習講座を受講できるよう配信する。

8 大学連携講座

〔予算額 688千円（対前年度比10.3%増）〕

大学が持つ優れた人材と設備を活用し、高度な内容の講座を実施することにより、市民の多様化する学習ニーズに応える。幅広い世代に向けて実施するため、子ども向けや中高生向けの講座を実施するとともに、オンラインによる講座も実施する。

9 学校施設開放

〔予算額 なし〕

地域住民の生涯学習活動やコミュニティ活動の推進を図るため、白山小学校、牛山小学校、石尾台小学校の余裕教室を地域の団体に開放する。

10 松原学習センター管理

〔予算額 668千円（対前年度比.90.8%減）〕

地域住民の生涯学習活動やコミュニティ活動の推進を図るため、小学校の余裕教室を利用した施設の貸館や生涯学習指導員による講座を実施する。

11 施設予約システム

〔予算額 3,211千円（対前年度比5.3%増）〕

愛知県内の市町が共同で利用する公共施設の予約システムで、公共施設の空き状況の検索や利用予約など、インターネットを通じて行うことができるもの。

12 春日井市出前講座

〔予算額 202千円（対前年度比増減なし）〕

身近な場所での学習機会の充実を図るため、地域の公民館や集会施設に市職員や生涯学習情報サイトに登録のある講師を派遣し、生涯学習講座を開催する。

13 学習室開放（スタディルーム）

〔予算額 なし〕

公民館・ふれあいセンター等の施設の空き集会室等を有効活用し、学習室として無料で開放することで、中高生の自主学習を支援する。

《実施概要》

実施施設：中央公民館、知多公民館、鷹来公民館、坂下公民館、味美ふれあいセンター、高蔵寺ふれあいセンター、南部ふれあいセンター、西部ふれあいセンター、東部市民センター、青少年女性センター

利用可能日：学校の長期休業期間及び土曜日、日曜日、祝日の午前9時から午後5時まで。

（施設の休館日及び開放できる部屋がない日を除く。）

利用できる者：市内在住、在学の中学生、高校生（小学生も利用可能）

14 生涯学習推進計画改定（中間見直し）

〔予算額 1,650千円（対前年度比皆増）〕

第2次春日井市生涯学習推進計画（計画期間：平成30年度から令和9年度）について、計画5年目となる令和4年度に中間見直しを行う。

令和3年度は、中間見直しに先立ち市民アンケート調査を実施する。

15 一般管理、負担金、補助金及び交付金

〔予算額 337千円（対前年度比56.0%増）〕

生涯学習施策の推進に係る研修等の受講、愛知県公民館連合会を始めとした各関係団体への参加、情報交換等を行う。

Ⅲ 道風記念館

【推進目標】

- 「書のまち春日井」を全国に発信し、市内に一層浸透させるため、書作品の展示、講座などの事業実施により、書に対する理解や鑑賞力を高める。

1 道風記念館運営協議会委員

〔予算額 66千円（対前年度増減なし）〕

道風記念館の運営に関し、調査及び審議を行う。

《委員構成》

書家	5名	
学識経験者	2名	
小野道風公遺跡保存会長	1名	計9名（うち1名は選定中）

2 道風記念館事業

[予算額 9,403千円 (対前年度比22.5%増)]

(1) 展示

① 館蔵品展

ア 常設展示

- 小野道風の業績などの解説パネル (通年)
- 道風を中心に平安時代の書の複製・木版本など (通年)

イ 館蔵品展

- 館蔵品の中からテーマを設定して展示 (年間4回開催)

② 企画展

ア 企画展「おののとうふう」

子ども向けにわかりやすく小野道風を紹介する。

開催日 7月16日(金)～9月5日(日)

イ 開館40周年記念企画展「書のまち春日井」

書のまち春日井を築いた故人らの書、書のまち春日井を支える現在の書家らの書を展示する。

会場 文化フォーラム春日井・ギャラリー

開催日 9月1日(水)～9月12日(日)

ウ 開館40周年記念特別展「和様の書の流れ」

平安時代の書の名品を中心に、小野道風が創始した和様の書の流れを追う。

開催日 9月11日(土)～10月3日(日)

エ 開館40周年記念「私の好きな言葉」展

座右の銘などの好きな言葉をハガキに書いた作品を募集し、随時展示する。

募集期間 4月1日(木)～令和4年3月31日(木)

開催日 4月1日(木)～10月31日(日)

3月1日(火)～4月30日(土)

(2) 道風記念館講座

書に関する内容の講座を開催する。

(3) 臨書作品展

ア 第40回道風の書臨書作品展

対象作品	一般の部	小野道風筆玉泉帖 伝小野道風筆本阿弥切
	高校生の部	小野道風筆智証大師諡号勅書 伝小野道風筆秋萩帖

応募締切 10月22日(金)

審査日 11月7日(日)

展覧会 1月12日(水)～23日(日)

表彰式 1月15日(土)

イ 第40回記念道風の書臨書優秀作品展

会場 文化フォーラム春日井・ギャラリー

開催日 1月12日(水)～16日(日)

- (4) 「道風記念館だより」の発行
小野道風に関する研究発表や小野道風に関する資料の紹介などを行う。
- (5) 開館40周年記念事業
道風記念館開館40周年式典 9月11日（土）

3 道風記念館施設管理

〔予算額 21,315千円（対前年度比10.5%増）〕

施設を安全・快適に利用できるよう設備の定期点検や修繕等を実施する。

IV 公民館・ふれあいセンター

【推進目標】

- 学びにつながるきっかけとなる講座やライフステージに応じた学習機会、現代的・社会的課題や多様なニーズに対応した学習機会の充実を図る。
- 働く世代や子育て世代など幅広い世代の人が参加しやすいよう、休日・夜間の講座や託児付き講座を開催するとともに、動画配信による講座も実施する。
- 幅広い世代の方々が集える場となるよう、利用者の交流の場としての談話室、託児ルームの設置及びWi-Fi導入について検討していく。

1 公民館・ふれあいセンター等講座

〔予算額 12,753千円（対前年度比9.8%増）〕

- (1) 市民講座
年間を2期（前期・後期）に分け、少子高齢化・情報化・国際化等による多様な学習要求に応えられる柔軟な学習プログラムを立案し、より多くの市民に学習の機会を提供する。また、通年型のアラカルト講座も開催する。
- (2) 短期講座
市民講座を補うものとして、季節・時期にあった短期の講座・教室などを開催する。また、動画配信による講座も開催する。
- (3) 子どもの部屋
アニメ映画や紙芝居・人形劇等、子どもを対象に実施し、青少年の健全な育成を図る。
- (4) 展示
趣味などの収集品、講座受講生や活動団体の作品をロビー等に展示し、広く市民に紹介する。

(5) 公民館まつり

地域住民に親しまれる「みんなの公民館」として、公民館クラブ等の成果を発表し交流を図る。

2 生涯学習活動団体の指導、育成

〔予算額 なし〕

市民が自主的に行う生涯学習活動を支援し、地域社会のコミュニケーションの場づくりに寄与するとともに、生涯学習の成果を活かしたまちづくりを推進するため、生涯学習活動を行う団体・クラブを指導、育成する。

3 各公民館・ふれあいセンター等小工事

〔予算額 207,276千円（対前年度比64.5%増）〕

施設の老朽化対策や快適な環境整備のため、高蔵寺ふれあいセンター、東部市民センターの非常用発電設備取替工事や坂下公民館屋上防水工事などを実施する。

4 各公民館・ふれあいセンター等施設管理

〔予算額 203,279千円（対前年度比10.6%増）〕

各公民館等において、施設を安全・快適に利用できるよう設備の定期点検や修繕等を実施する。また、高蔵寺、南部、西部ふれあいセンター、東部市民センター、坂下公民館において、LED照明器具の借上げを行う。

V 青年の家

【推進目標】

○施設の特色を生かした音楽に親しめる場として学習環境を整備し、主に音楽を中心とした講座を実施する。

1 青年の家講座

〔予算額 560千円（対前年度比1.4%減）〕

社会生活に必要な教養を高め、施設の特徴を活かした講座を開設し、青少年の健全育成と音楽の振興を図る。

2 青年の家施設管理

〔予算額 15,636千円（対前年度比1.8%増）〕

施設を安全・快適に利用できるよう設備の定期点検や修繕等を実施する。

VI スポーツ課

【推進目標】

○春日井市スポーツ振興基本方針に掲げる3つの方針を目標とし、地域における生涯スポーツの取り組みを支援し、競技スポーツの振興やレクリエーションスポーツの普及を積極的に進める。

○生涯スポーツの推進

1 新春春日井マラソン大会

〔予算額 11,500千円（対前年度増減なし）〕

市民が楽しみながら体力づくりと健康増進を図り、家族や参加者相互の交流を深めることを目的に、新春を飾るスポーツの祭典として開催する。

《開催概要》

開催日 1月9日（日）

場 所 総合体育館及び周辺道路

2 市民体育大会

〔予算額 3,209千円（対前年度増減なし）〕

市民に広くスポーツに接する機会を提供し、健康の増進・体力の向上を目指しながらスポーツ人口の拡大を図るため、各種目の大会を春日井市スポーツ協会に委託し開催する。

《開催概要》

開催期間 4月1日（木）～3月31日（木）

場 所 総合体育館始めスポーツ施設等

種 目 軟式野球、剣道を始めとする39種目

3 高校生スポーツ大会

〔予算額 1,380千円（対前年度比3.8%増）〕

市内9高等学校間の交流を深め、体力及び技術の向上を図る。

《開催概要》

開催期間 6月19日（土）～8月9日（月・休）（予定）

場 所 総合体育館ほか市内スポーツ施設及び高等学校

4 レクスポ普及・振興事業

[予算額 1,000千円 (対前年度増減なし)]

- (1) レクリエーションスポーツ祭
生涯スポーツの普及振興として、いろいろなレクリエーションスポーツを行い、家族や地域の人達が集い、体力の向上と地域社会の親睦を図る。

《開催概要》

開催日 6月13日(日)

場 所 総合体育館

5 スポーツ賞表彰・全国大会等支援

[予算額 1,526千円 (対前年度比8.2%増)]

- (1) 春日井市スポーツ賞表彰式
国際スポーツ大会等で優秀な成績をおさめたスポーツ選手や、その指導者の功績を広く顕彰する。

《開催概要》

開催日 3月21日(月・祝)

場 所 文化フォーラム春日井(予定)

- (2) 全日本女子学生剣道優勝大会
全国の各地区代表の56大学が集結し、日本一を目指す。女子学生剣道の発展と健全育成を図る。

《開催概要》

開催日 11月14日(日)

場 所 総合体育館

- (3) 全国高等学校剣道選抜大会
全国都道府県代表の男女各64校が集結し、日本一を目指す。高校剣道の発展と健全育成を図る。

《開催概要》

開催期間 3月26日(土)～28日(月)

場 所 総合体育館

- (4) 後援に係る賞の交付

6 スポーツ表彰審査会

[予算額 30千円 (対前年度増減なし)]

国際スポーツ大会等で優秀な成績をおさめたスポーツ選手や、その指導者の功績を広く顕彰するための表彰を公正かつ適正に行うため、表彰の適否の審査を行う。

《委員構成》

教育委員会委員	1名	
社会教育委員	1名	
市内小中学校長の代表	1名	
市内高等学校長の代表	1名	
スポーツ協会の役員	2名	
スポーツ推進委員	1名	計7名

7 スポーツ応援事業

〔予算額 7,470千円（対前年度比0.7%増）〕

市を広くPRするとともに参加者と市民の交流が図られる全国規模のスポーツ大会の開催及び国際的又は全国的規模で開催されるスポーツ大会への市民の出場者に対し、市が文化スポーツ応援団となって支援を行う。

8 スポーツ協会補助

〔予算額 10,000千円（対前年度増減なし）〕

スポーツ協会の運営及び加盟団体40団体を育成し、各競技団体が行うスポーツ教室等を助成し、スポーツの振興を図る。

また、学校区体育振興会18団体を育成し、地域スポーツの振興を図る。

9 スポーツ振興基金積立金

〔予算額 12千円（対前年度増減なし）〕

広く市民のスポーツの振興と健康の保持増進を図るため、基金を設置。

10 公益財団法人春日井市スポーツ・ふれあい財団運営費補助金

〔予算額 674,005千円（対前年度比8.6%増）〕

財団が事業を進めていくために必要な経費を補助し、その運営の充実及び住民福祉の向上を図る。

○朝宮公園陸上競技場オープン記念事業【新規】

○市制70周年継承事業

・ラジオ体操事業

・ボールゲームフェスタ

11 オリンピック・パラリンピック関連事業費

〔予算額 8,384千円（対前年度比146.3%増）〕

東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けた機運の醸成を図るため、オリンピック聖火リレーなどの関連事業を実施し、市民のスポーツに対する関心や興味を高める。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が令和3年度に延期となったことに伴い、関連事業の開催も延期となった。

《事業概要》

(1) 東京2020オリンピック聖火リレー

開催日 4月5日(月)

内容 レディヤンかすがいから勝川駅前公園まで、県道内津勝川線を走行(13区間:約1,700メートル)。

(2) 東京2020パラリンピック聖火フェスティバル

開催日 8月14日(土)

場所 文化フォーラム春日井前・屋外広場

内容 東京2020パラリンピック聖火につながる火の採火式及び展示等を実施。

○コミュニティスポーツの推進

12 スポーツ推進委員

[予算額 2,926千円(対前年度比5.4%増)]

地域のスポーツ大会、スポーツ教室等の実施に関する連絡調整及び指導・助言や健康・体力づくりの実技指導を行い、地域スポーツの推進を図る。

《スポーツ推進委員 66名(令和3年2月1日現在)》

13 学校区体育振興

[予算額 114千円(対前年度比3.6%増)]

(1) 学校区体育振興会交流大会

各学校区体育振興会が集まり、親睦と交流を深める。

《開催概要》

開催日 11月21日(日)

場所 総合体育館

○スポーツ施設の整備充実

14 学校体育施設開放

[予算額 1,799千円(対前年度比1.9%増)]

市立小中学校及び県立学校の体育施設を、学校教育に支障のない範囲で地域住民等に開放することにより、市民の健康の保持増進・体力の向上を図る。

《事業概要》

- (1) 小中学校体育施設開放
 - 小中学校 体育館 52校
 - 中学校 武道場 15校

- (2) 県立学校体育施設開放
 - 市内県立学校 校庭 8校

15 総合体育館等体育施設管理費

〔予算額 480,451千円（対前年度比11.0%増）〕

総合体育館を始め、温水プール、市民球場、落合公園体育館及び朝宮公園を、安全で安心してスポーツに親しむことができるよう施設管理を行う。

16 総合体育館等体育施設小工事

〔予算額 162,321千円（対前年度比47.1%減）〕

指定管理者制度を導入した市内スポーツ施設の工事を施工し、施設の整備充実を図るとともに、安全で安心してスポーツに親しむことができる施設整備を推進する。

《主な工事等》

- (1) 落合公園体育館北東側駐車場拡張工事
- (2) 市民球場トイレ改修工事
- (3) 温水プール放送設備更新工事

17 屋外体育施設管理費

〔予算額 44,989千円（対前年度比8.9%増）〕

地域におけるスポーツ活動の場であるグラウンド等の維持管理を行う。

18 屋外体育施設小工事

〔予算額 53,000千円（対前年度比皆増）〕

地域におけるスポーツ活動の場であるグラウンド等の整備を行う。

19 朝宮公園管理

〔予算額 なし（対前年度比皆減）〕

※令和3年度から朝宮公園への指定管理者制度の導入に伴い、本事業経費を指定管理料として、「15 総合体育館等体育施設管理費」において予算計上。

20 朝宮公園整備

[予算額 1,101,188千円 (対前年度比56.5%減)]

豊かな自然環境を保全しつつ、スポーツや健康づくりの機能を充実させ、公園全体の魅力をさらに高めるため、陸上競技場を始めとした施設の整備を行う。

《事業概要》

- (1) 第1期整備 (陸上競技場、総合管理棟等)
- (2) 第2期整備 (遊具広場、多目的広場、テニスコート等)
- (3) 東門駐車場整備工事等

○スポーツ振興管理

21 振興管理

[予算額 993千円 (対前年度比0.2%減)]

スポーツの普及・振興の管理業務を行う。

VII 図書館

【推進目標】

- 誰もが利用しやすい、何度でも足を運びたいくなるような図書館を目指す。
- 「第4次春日井市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもが本に親しみ、生涯にわたり読書活動を継続していけるよう、読書に親しむきっかけづくりや読書環境の整備を推進、充実する。

1 図書館協議会委員

[予算額 117千円 (対前年度比50%減)]

館長の諮問に応ずるとともに、図書館奉仕について意見を述べる。

《委員構成》

学校教育関係者 2名
社会教育関係者 4名
家庭教育関係者 2名
学識経験者等 2名 計 10名

2 図書購入

[予算額 43,000千円 (対前年度比7.5%増)]

(1) 図書

館室別	令和3年度購入
図書館	8,000冊
高蔵寺まなびと交流センター図書館	4,300冊
勤労福祉会館図書室※	2,400冊
他8図書室	4,000冊
計	18,700冊

※勤労福祉会館の改修工事に伴い、図書室も改修されるため、蔵書資料を見直して、入れ替えを図る。

(2) その他の図書資料

- ① 紙芝居 200巻
- ② 新聞 (図書館28紙、高蔵寺まなびと交流センター図書館12紙)
- ③ 雑誌 (図書館212誌、高蔵寺まなびと交流センター図書館102誌)
- ④ 官報、加除資料等

3 読書啓発

[予算額 3,289千円 (対前年度比4.6%減)]

(1) 読書手帳の配付

小学生を対象に、自分の読書履歴や感想を記載できる読書手帳を図書館及び図書室で配付する。

(2) ブックスタート事業

4か月児健康診査時に保護者に絵本等を手渡し、読み聞かせの大切さや、本に親しむ家庭環境の重要性を啓発する。

(3) 赤ちゃんのためのおはなし会

乳児と保護者を対象に、図書館及び図書室において、読み聞かせを行い、乳児期の家庭における読書活動の大切さを啓発する。

(4) 紙芝居とお話を聞く会

幼児・児童を対象に、図書館及び図書室において、図書館ボランティアの協力により読み聞かせを行う。

(5) すくすく読み聞かせ会

1歳6か月から就園前までの幼児を対象に、図書館において、図書館ボランティアの協力により読み聞かせを行う。

(6) 読書週間事業

春の「こどもの読書週間」と秋の「読書週間」に合わせて関連事業を実施する。

- (7) 小中学校読書感想文・感想画コンクール
読書によって得た感動を文章や絵で表現することをとおして、読書力・表現力・創造力を養うために実施する。
- (8) 中学・高校生向け読書講座（10代の未来さがし講座）
読書をおとして、自分の目指す未来について考えるきっかけづくりとなる講座を開催する。
- (9) 調べ学習サポート事業【新規】
小学校における調べ学習に活用できる蔵書リストを整備し、各小学校に提供する。
- (10) 図書館ボランティア養成講座【新規】
図書館等において読み聞かせ事業を推進するため、ボランティアの希望者に対し、必要な知識や心構え、読み聞かせの技術等を習得する養成講座を実施する。

4 障がい者図書サービス

[予算額 710千円（対前年度比4.6%減）]

- (1) 図書等の無料郵送貸出
障がい者等で来館することが著しく困難であると認められる方を対象に、図書及び録音・点字図書の無料郵送貸出をする。
- (2) 対面読書
文字を読むことが不自由な方を対象に、音訳ボランティアが図書館資料を対面で読む。
- (3) 録音図書、点字図書の製作
視覚障がい者のための録音図書及び点字図書を製作する。
- (4) 音訳技術講習会
録音図書製作のボランティアを養成するため、講習会を開催する。
- (5) 音訳デジタル録音技術講習会
録音図書をデジタルで製作するボランティアを養成するため、講習会を開催する。

5 図書館管理

[予算額 25,857千円（対前年度比2.2%減）]

- (1) 図書館運営
 - ① 図書館事業
図書資料の閲覧、貸出、巡回搬送、読書相談、読書啓発事業、障がい者図書サービス事業等、総合的な図書館事業を進める。

- ② 各図書館・図書室との連携
高蔵寺まなびと交流センター図書館及び味美ふれあいセンター始め
9図書室と、窓口業務における問題点・改善事例について情報を共有し、
サービス向上に努める。
 - ③ 図書館ホームページ
利用案内、図書検索、インターネット予約サービス、他の図書館との
リンク等のサービスを提供する。
- (2) 図書館ボランティアとの協働
図書館ボランティアと連携しながら、返却図書の排架、書架整理、絵本
の読み聞かせ、対面読書、デジタイズ図書・点字図書の製作等を実施する。
- (3) その他
- ① 読み継がれる絵本コーナー
読書に親しむ機会の充実のため、子どもや子育て世代向けに、世代を
超えて親しまれている名作絵本などを紹介する。
 - ② 企画展示
読書の楽しさや本への興味を促すため、様々なテーマに合わせた資
料を展示する。
 - ③ サポート展示「さぽてん」
市の事業のPRのため、各課の事業を周知するとともに、関連した図
書館資料を展示する。
 - ④ 本の福袋
本との出会いを提供するため、テーマに合わせて選書した図書館資
料2・3冊を袋詰めしたものを貸出する。
 - ⑤ 幼稚園・保育園巡回図書
子どもたちが多くの本に出会えるよう、市内の幼稚園・保育園等を定
期的に巡回し、貸出用コンテナに詰めた絵本、児童書、紙芝居などを貸
出する。
 - ⑥ 図書館年報、図書館だよりを発行する。

VIII 文化財課

【推進目標】

- 市内に残る史跡等の貴重な文化財や地域の伝統的な民俗文化を保護・保存
し、次世代に継承する取り組みを推進するとともに、公開・活用をすること
により、市民が文化財に親しみ、文化財愛護意識を高めるようにする。

1 文化財保護審議会委員

〔予算額 176千円（対前年度比50.4%増）〕

文化財の保存及び活用に関し、調査及び審議を行う。

《委員構成》
学識経験者 8名

2 内津文化財祭

[予算額 753千円 (対前年度比5.5%増)]

内々神社が所蔵する文化財を公開し、文化財保護への理解を深め啓発を図る。

《開催概要》
開催日 5月9日(日)
場 所 内々神社

3 ハニワまつり

[予算額 4,955千円 (対前年度比3.5%増)]

市民が制作したハニワの野焼きや体験工房等を開催し、二子山古墳の歴史的背景を広く市民に紹介する。また、野焼きしたハニワは、ふれあい緑道(ハニワ道)と二子山公園内のハニワの館に設置する。

《開催概要》
開催日 10月23日(土)
場 所 二子山公園

4 「郷土誌かすがい」発行

[予算額 286千円 (対前年度増減なし)]

郷土史研究の発表の場とするとともに、市民が郷土の歴史や文化財に親しめるように発行する。(年1回発行)

5 民俗考古調査

[予算額 3,501千円 (対前年度比20.4%増)]

- (1) 発掘調査、出土遺物・調査資料の整理
区画整理事業等により失われる埋蔵文化財について発掘調査を実施し、出土遺物・調査記録を整理する。また、調査成果をまとめた神領第4号墳他3遺跡発掘調査報告書を発行する。
- (2) 民俗聞き取り調査、資料の収集・整理・保存
年中行事等について聞き取り調査を実施し、調査記録を整理する。また、衣食住及び生業に関する民俗資料を中心に収集し、整理・保存する。

6 指定文化財・郷土芸能保存

[予算額 3,763千円 (対前年度比32.2%増)]

市内の指定文化財や郷土芸能の保存・保護を図るため、環境整備や保存伝承活動等に対し、補助金を交付する。

7 埋蔵文化財調査

[予算額 4,045千円 (対前年度比4.4%増)]

- (1) 国庫補助による埋蔵文化財の試掘・確認調査及び「概要報告書」の発行
区画整理事業や各種開発行為と埋蔵文化財についての事前調整を図るため、試掘・確認調査を行う。また、調査の概要をまとめ、報告書として発行する。
- (2) 国庫補助による埋蔵文化財資料の整理及び保存並びに活用
過去に実施した発掘調査資料を公開・活用できるよう再整理し、あわせて歴史講座や企画展示を行う。

8 文化財継承

[予算額 649千円 (対前年度比5.2%増)]

- (1) 文化財ボランティア育成
市内の貴重な史跡や文化財の保護・啓発を推進するため、文化財ボランティア活動を支援するとともに、文化財ボランティアの養成及び資質向上のため研修を開催する。
- (2) 郷土芸能出前講座
地域の郷土芸能保存団体を小学校に招き、郷土芸能を紹介・披露してもらい、団体の指導により児童が練習や発表を行うことで、地域の民俗芸能の担い手を育成する。
- (3) 民俗考古展示室 企画展・講座
地域の歴史・文化財に対する市民の関心を高めることを目的に、民俗考古展示室(体験・企画展示室)で企画展示やワークショップ等を開催する。

9 文化財管理

[予算額 4,491千円 (対前年度比7.3%増)]

二子山古墳を始めとする市内の史跡等の文化財の適切な管理を行う。

10 文化財保護

[予算額 614千円 (対前年度比21.1%増)]

貴重な史跡や文化財を保護し、次世代へ継承するため、文化財を火災等の災害から守る文化財防火訓練の開催や文化財の説明看板等の修繕を行う。

11 一般管理

[予算額 1,461千円 (対前年度比4.2%増)]

事務的経費及び愛知県史跡整備市町村協議会分担金

Ⅹ 野外教育センター

【推進目標】

- 東部丘陵の豊かな自然を活用し、市民に親しまれる空間を創出するため、少年自然の家と都市緑化植物園を会場に、「緑と花」をテーマに、それぞれの施設の特性を活かし、幅広い年齢層の方々に楽しんでいただけるフェスティバルを開催し、両施設の一体利用の推進を図る。
- 小中学校の集団宿泊学習などに対する野外活動指導及び少年自然の家事業（指導者養成講座・野外活動振興事業）の充実を図る。
- 市民の緑化意識の高揚、植栽知識の普及などを図り、都市緑化を推進するとともに、自然に恵まれたレクリエーション活動の場を市民に提供するため、緑と花のフェスティバル事業を始め、グリーンピアコンサート・各種講習会・展示会などの充実を図る。

1 少年自然の家事業

[予算額 2,722千円 (対前年度4.6%減)]

(1) 指導者養成講習会

少年自然の家の教育目標を達成するためには、優れた指導者の養成が必要である。野外での体験活動、自然に親しむ活動、遊びなど様々な分野で十分な指導ができるよう講習会を開催する。

野外活動・自然体験指導者講座

- ① リーダー(3回)
- ② インストラクター(3回)
- ③ プロジェクト・ワイルド(1回)

(2) 野外活動振興事業

少年自然の家及び東部丘陵の自然を活用し、幅広い年齢層の市民が四季を通じて自然を体感できる多様な野外・自然体験活動や環境学習の機会を提供する。

- ① 里山体験「田んぼと森の学校」(1泊2日9回)

- ② 冬のファミリーキャンプ（1泊2日）
- ③ 自然学校「里山木こり体験」（1泊2日2回、日帰り1回）
- ④ 地域ミライ 防災×キャンプ（1泊2日）
- ⑤ わくわく自然ランド（4回）
- ⑥ あそびむしくらぶ（10回）
- ⑦ 自然学校「カヌーに乗って湿地探検」（2回）
- ⑧ 築水池カヌー体験（4回）
- ⑨ 大人の里山歩き（6回）
- ⑩ ツキイチ里山歩き隊（10回）

公益財団法人春日井市スポーツ・ふれあい財団の事業

- ① サマーキャンプ2021（4泊5日）
- ② 初めて挑戦！アウトドア（1泊2日、3回）
- ③ きらめきキャンプ ホタル&カヌー（1泊2日）
- ④ 全力！Nスポーツ×キャンプ（1泊2日）
- ⑤ 全力！虫とり×キャンプ（1泊2日）
- ⑥ 万葉の花めぐり（2回）
- ⑦ ハチミツしぼり体験（1回）
- ⑧ 夏×自然体験プログラム（随時）ナイトハイク等
- ⑨ 冬×自然体験プログラム（随時）もちつき、バードウォッチング等
- ⑩ 環境教育プログラム（随時）
- ⑪ ネイチャーガイド×トレッキング（随時）
- ⑫ 野外学習夜間プログラム（随時）
- ⑬ 出張自然講座（随時）

(3) 第11回緑と花のフェスティバル（自然の家会場）

開催日：4月29日（木・祝）～5月5日（水・祝）

- ① アウトドアdeピザ&スモーク（2回）
- ② わくわくチャレンジ・アウトドア、ツリークライミング体験他（延べ3日）
- ③ スタンプラリー、みろくとあそぼう！（2回）他

(4) 受け入れ指導事業

小中学校の宿泊学習始め子ども会・スポーツ少年団など各種利用団体に、計画の立て方や野外炊事及びクラフトなどの実技並びに自然観察などの野外活動に関する指導を行う。

(5) 機関紙の発行

少年自然の家の活動状況、事業のPR及び自然観察の楽しみ方などを掲載し、各施設に配布して広く市民に周知する。

- ① 自然の家だより：1月、A4判、4ページ
- ② 情報誌やまもも：5月・9月・11月、3月A4判、2ページ

(6) 夏休み野外活動補助事業

夏季期間中の利用団体などに対する野外活動の指導、助言などを行う。

期間： 7月21日（水）～8月31日（火）の土・日、祝日
（8月8日（日）～8月18日（水）は毎日実施）

2 少年自然の家小工事

〔予算額 38,754千円（対前年度比67.4%増）〕

設備の老朽化に対応し安全安心な環境整備を進めるため、ボイラー重油タンク更新工事などを行う。

《主な工事等》

- (1) ボイラー重油タンク及び非常用発電機更新工事実施設計業務委託
- (2) ボイラー重油タンク及び非常用発電機更新工事

3 少年自然の家管理

〔予算額 62,036千円（対前年度比3.6%増）〕

(1) 少年自然の家管理

- ① 施設維持管理業務
施設利用者が安全かつ快適に利用できるよう、施設維持管理を行う。
- ② 集団宿泊生活及び野外活動の指導
小中学校の宿泊、野外学習の指導を実施する。
- ③ 少年自然の家ホームページ
施設利用案内のサービスを提供する。

4 細野キャンプ場管理

〔予算額 3,823千円（対前年度比10.9%増）〕

(1) 細野キャンプ場管理

- ① 施設管理業務
施設利用者が安全かつ快適に利用できるよう、施設維持管理を行う。

5 都市緑化植物園事業

〔予算額 4,183千円（対前年度比3.2%増）〕

(1) 第11回緑と花のフェスティバル（植物園会場）

開催日：4月29日（木・祝）～5月5日（水・祝）

- ① ふれあいミニ動物園
- ② ポニーに乗ろう
- ③ ダンボールであそぼう
- ④ nico 2 festa
- ⑤ 保育士シンガーソングライター桃乃カナコファミリーコンサート
- ⑥ 道風くんの植物クイズ
- ⑦ KCジャズオーケストラスプリングコンサート

- ⑧ 花の詩コンサート
- ⑨ 天野麻里絵のガーデニング教室
- ⑩ two peace ピアノとドラムで時忘れコンサート
- ⑪ Jazz Train Sax Quartet コンサート
- ⑫ フードコート
- ⑬ 小牧小売酒販組合 春日井支部
- ⑭ 園芸用品の販売
- ⑮ 春日井風土kasugai food
- ⑯ サボテンの販売
- ⑰ 多治見市モザイクタイルワークショップ
- ⑱ ハンギングバスケット即売会
- ⑲ ハンギングバスケット展
- ⑳ 野点茶会と琴の演奏
- ㉑ 草木染体験
- ㉒ 花苗・野菜苗の販売
- ㉓ ガーデニングアイテムの販売
- ㉔ 森の恵みで工作体験
- ㉕ 春のミニ盆栽展
- ㉖ 名古屋造形大学 ワークショップと植物画展
- ㉗ フェスティバル本部
- ㉘ スタンプラリー
- ㉙ 第11回春日井市野外教育センター写生コンクール
- ㉚ サイクルポート

(2) グリーンピアコンサート

- ① 主催コンサート（年18回開催予定）
緑と花の休憩所植替えイベント時に開催
- ② 共催コンサート（年60回開催予定）
市内で活動している団体、グループ、個人の申し出者により開催
（主にコーラスやギター、オカリナ、キーボード、フラダンス等のコンサート）

(3) 植物園講習会・展示会・各種教室

- ① 展示会（年22回開催予定）
- ② 教室、講習会（年61教室90回開催予定）
 - ア 長期継続教室（年2教室26回開催）
（ボタニカルアート(植物画)教室、デジタル写真教室)
 - イ 園芸教室（年20教室開催）
（バラの春から夏の栽培管理他）
 - ウ おしゃれ園芸教室（年6回開催）
 - エ 子どもフラワー教室（年5回開催）
 - オ 子ども動物飼育体験（年9回開催）
 - カ 親子教室（年3回開催）
 - キ ハーブの恵み教室（年5回開催）
 - ク その他教室（年16回開催）

(4) 都市緑化植物園内樹木等管理

- ① 緑と花の休憩所の灌水、園内樹木・草花管理業務
- ② サイクルボート貸出業務（3月～11月）
※土日祝日のみ実施。

(5) 緑の相談

植物園内「緑の相談所」に相談員2名を配置し、病虫害の防除対策や施肥方法、庭木の剪定の仕方など植物全般に関する市民からの相談業務を行う。

また、月2回（第2、4木曜日）相談員による出前診断を行う。

6 都市緑化植物園小工事

[予算額 21,200千円（対前年度比49.9%減）]

来園者が安心安全な環境で楽しんでもらえるよう、老朽化対策として、ログハウス屋根外壁等改修工事などを行う。

《主な工事等》

- (1) ログハウス屋根外壁等改修工事
- (2) 馬舎屋根外壁等改修工事
- (3) 鳥舎屋根外壁等改修工事
- (4) うさぎ小屋屋根外壁等改修工事
- (5) 作業員詰所屋根外壁等改修工事
- (6) ボランティアハウス屋根外壁等改修工事

7 都市緑化植物園管理

[予算額 90,328千円（対前年度比3.9%増）]

(1) 園内維持管理

都市緑化植物園内施設の維持管理を図り、市民に安心安全な環境のもと憩いと潤いのある場を提供する。

《主な内容》

- ① 緑と花の休憩所植替え（年6回）
- ② 緑の相談所他施設維持管理
- ③ 施設設備維持保守点検

(2) 動物ふれあい広場運営管理

市民の動物愛護精神を涵養し、命の大切さを学んでもらうよう、施設運営を行う。

《主な内容》

- ① ポニー2頭始め26品種161頭数を飼育（令和3年1月31日時点）
- ② 動物ふれあい体験の実施
 - ア 鳥舎ウォークスルー
 - イ ポニーに乗ろう
 - ウ ウサギ・モルモットとのふれあい